

沖縄米国総領事

ロバート・ケプキー 殿

宜野湾市長 松川 正則

普天間飛行場における泡消火剤漏出事故について（抗議・要請）

去る 4 月 10 日午後 5 時過ぎ、市内保育園関係者より、普天間飛行場から泡消火剤が流出しているとの連絡があり、その後、沖縄防衛局から、普天間基地において泡消火剤が漏出し、漏出した泡消火剤には PFOS が含まれているとの連絡を受けた。

普天間飛行場における泡消火剤の漏出事故は、昨年 12 月にも発生しており、本市から沖縄防衛局並びに米軍に対し抗議を行い、再発防止を訴えたばかりであり、有機フッ素化合物に対し市民の不安が払拭されない中、今回の事故が発生した事は大変遺憾である。

また、漏出事故の報告を受けた当日より、沖縄防衛局を通じ米軍へ泡消火剤の回収を要請したにもかかわらず、4 月 11 日、本市の宇地泊川において確認された泡消火剤について、米軍は効果的な対応をすることなく、本市の多くの職員がその対応に追われることとなったことについても強い怒りを禁じえない。

については、市民の生命及び財産を守り、市域の環境を保全する立場から、今回の泡消火剤漏出事故について強く抗議するとともに、下記事項について強く要請する。

記

- 一．今回の事故原因と詳細について、再発防止策も含め、その内容を早急に説明すること
- 一．普天間飛行場に残存している有機フッ素化合物が含まれている泡消火剤について、早急に交換すること
- 一．漏出した泡消火剤の飛散及び河川への流出が確認されており、住民の安全を確保し周辺環境を保全するために必要な対策を速やかに講ずること
- 一．土壌・河川等への影響を確認するため、泡消火剤漏出現場とその漏出または飛散した周辺地域の環境調査を実施し、その調査結果を報告すること
- 一．現場確認のため普天間飛行場への立ち入り許可を与え、立ち入りの際は、米軍も立ち会うこと